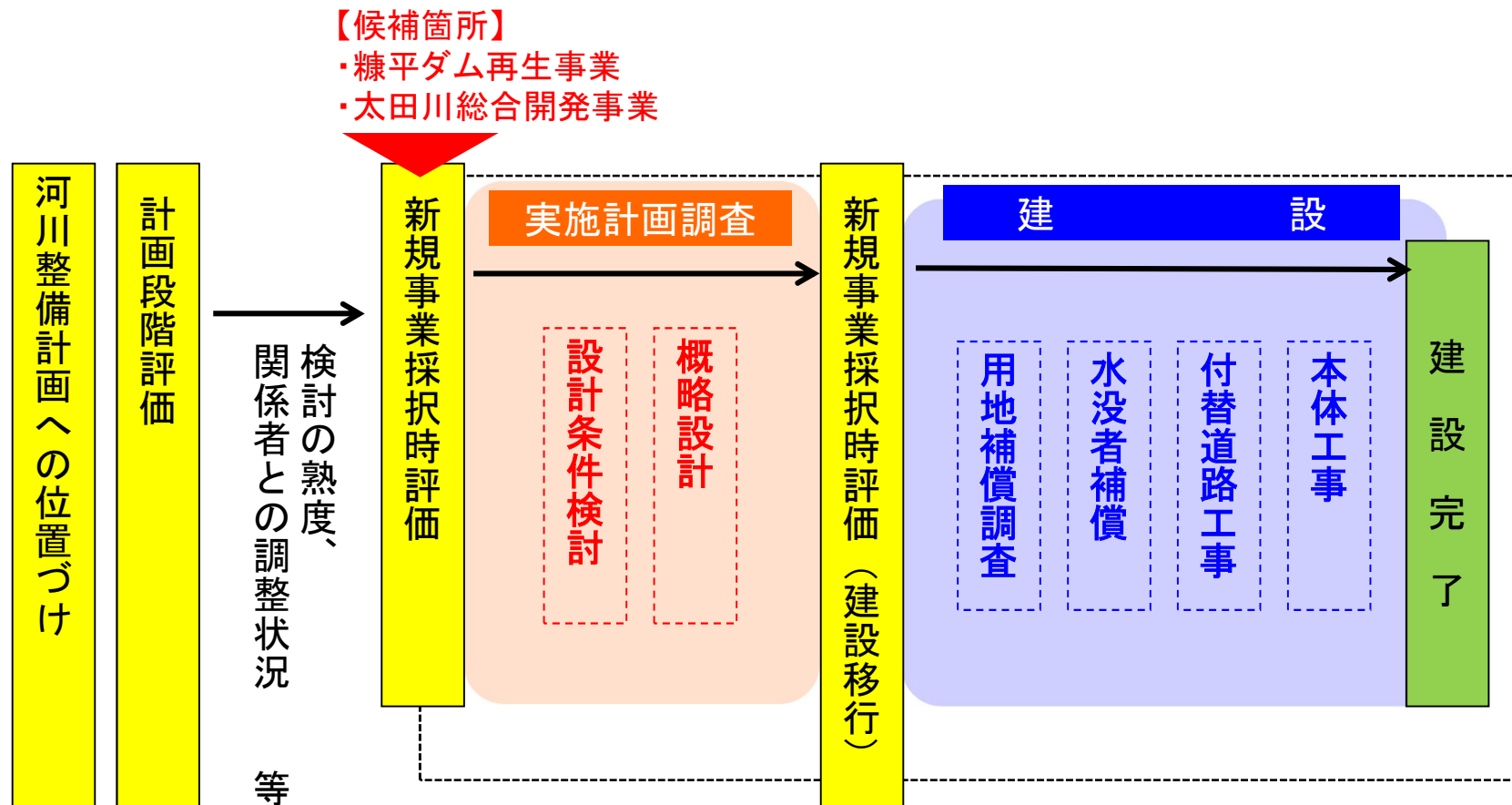


ダム事業の新規事業採択時評価候補箇所の 選定の考え方について

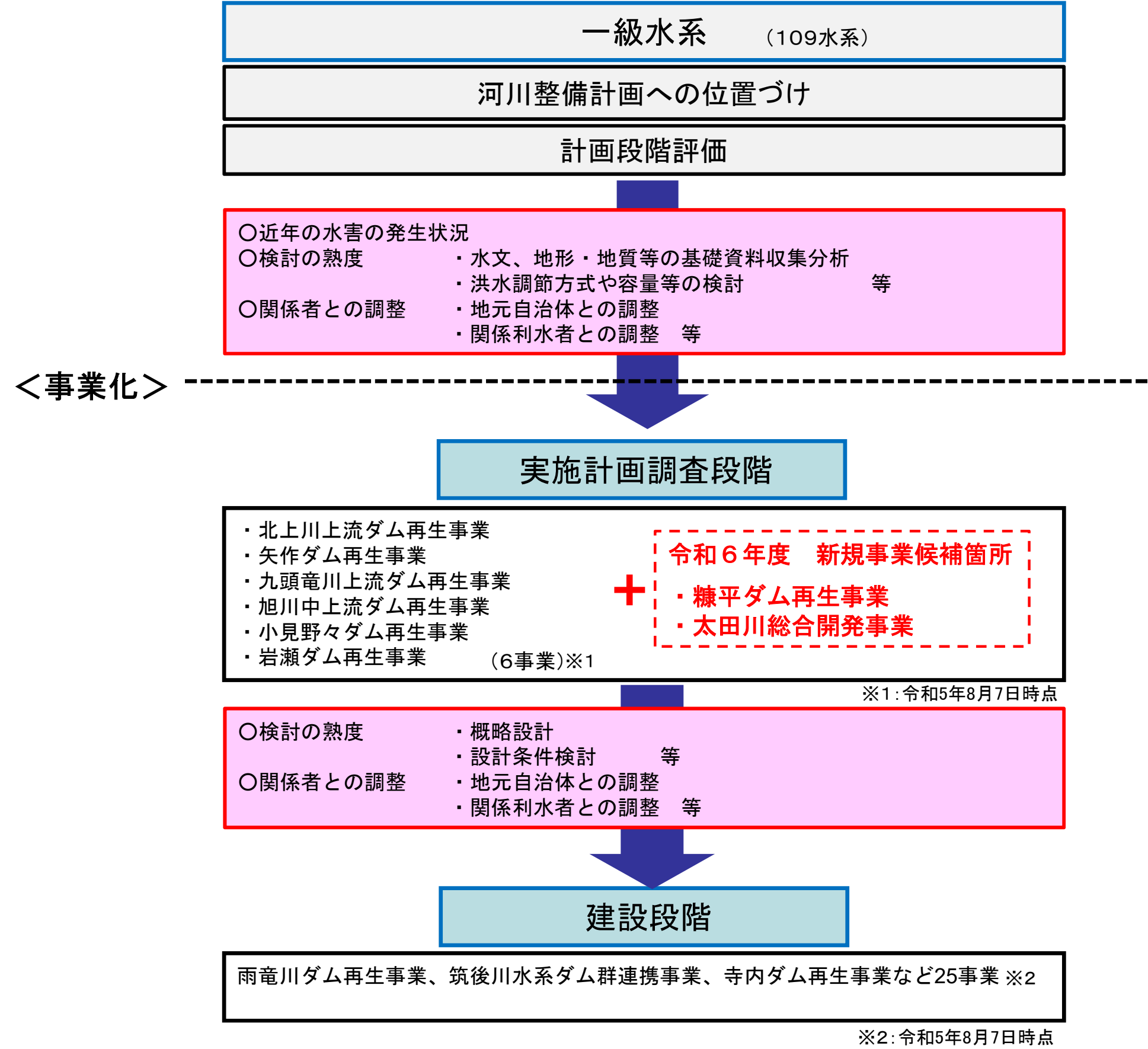
ダム事業の流れと新規事業採択時評価について

- 河川整備計画に位置づけられ、検討の熟度、関係者との調整状況等を踏まえて新規事業の候補箇所を選定。
- ダム事業については、実施計画調査の着手時点に加え、建設段階へ移行する際にも新規採択時評価を実施。



R 6 新規事業採択時評価候補箇所の選定の考え方（ダム事業）

- 河川整備計画に位置づけられるとともに、計画段階評価により事業の必要性及び事業内容の妥当性を確認している個別事業のうち、以下の2事業を新規事業採択時評価の候補箇所として選定を行った。
- 糠平ダム再生事業：ダム再生に必要となる基礎資料（既設ダムの構造等）の収集・分析や貯水容量の検討等が進むとともに、既設ダムの管理者や関係者との調整が整ったことから、実施計画調査に着手する。
- 太田川総合開発事業：既設ダムの管理者との調整が進むとともに、地質等の基礎資料の収集・分析により、新規ダムの建設（高さ・位置、構造等）を見通すことが可能となり、関係者との調整も整ったことから、実施計画調査に着手する。



令和6年度 新規事業候補箇所
（実施計画調査段階） 糠平ダム再生事業、太田川総合開発事業